

		(2007)	
<i>Biol. Pharm. Bull.</i> , 30 , 556-561.	Down-regulation of hepatic transporters for BSP in rats with indomethacin-induced intestinal injury.	Fujiyama, N., Shitara, Y., Ito, K., Masubuchi, Y., Horie, T. (2007)	薬剤部
<i>In Vitro. Anticancer Res.</i> , 27 , 4179-4184.	Antitumor Effect of Acridine Orange Under Ultrasonic Irradiation	Suzuki, N., Okada, K., Chida, S., Komori, C., Shimada, Y. and Suzuki, T. (2007)	薬剤部
<i>Int. J. Urol.</i> 14 , 990-994.	Association of cytokine polymorphisms with subclinical progressive chronic allograft nephropathy in Japanese renal transplant recipients: preliminary study.	Satoh, S., Saito, M., Inoue, K., Miura, M., Komatsuda, A. and Habuchi, T. (2007)	薬剤部
<i>Cancer Sci.</i> , 98 , 1696-700.	Identification of cell proliferation-associated epitope on CD98 oncoprotein using phage display random peptide library.	Itoh, K., Inoue, K., Hayashi, H., Suzuki, T. and Masaoka, T. (2007)	薬剤部
<i>Biol. Pharm. Bull.</i> , 30 , 839-841.	Genetic polymorphism of C452T (T127I) in human gamma-glutamyl hydrolase in a Japanese population.	Hayashi, H., Fujimaki, C., Inoue, K., Suzuki, T. and Itoh, K. (2007)	薬剤部

小計 5

<i>J.Psychopharmacol.</i> , 21, 650-656.	The G196A polymorphism of the brain-derived neurotrophic factor gene and the antidepressant effect of milnacipran and fluvoxamine.	Yoshida, K., Higuchi, H., Kamata, M., Takahashi, H., Inoue, K., Suzuki, T., Itoh, K. and Ozaki, N. (2007)	薬剤部
<i>Xenobiotica</i> , 37, 260-270.	Nafamostat is hydrolysed by human liver cytosolic long-chain acyl-CoA hydrolase.	Yamaori, S., Ukena, E., Fujiyama, N., Funahashi, T., Kimura, T., Yamamoto, I., Ohshima, T., Matsumura, K., Oda, M., Watanabe, K. (2007)	薬剤部
<i>J.Health Science</i> , 53, 60-66.	Butyrylcholinesterase and Sulphydryl-dependent Enzyme Hydrolyze Gabexate in Human Blood.	Yamaori, S., Kushihara, M., Fujiyama, N., Funahashi, T., Kimura, T., Yamamoto, I., Matsumura, K., Oda, M. and Watanabe, K. (2007)	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌 43, 99-101.	秋田大学医学部附属病院における妊婦のサプリメント使用実態と薬剤母乳移行性に関する認知度調査。	菊地尚子, 三浦昌朋, 平野秀人, 井上和幸, 田中俊誠, 鈴木敏夫 (2007)	薬剤部

小計 4

秋田大学医学部保健学科紀要15, 125-130.	がん薬物療法において薬剤師が果たすリスクマネジメントの効果。	庄司 学, 室田英行, 佐藤悦子, 福井了三, 進藤菜穂美, 浅沼義博, 鈴木敏夫(2007)	薬剤部
臨床薬理の進歩 26, 163-169.	脳由来神経栄養因子(BDNF)G196A 遺伝子多型と milnacipran および fluvoxamine の抗うつ効果との関連性	吉田契造, 樋口久, 鎌田光宏, 高橋一志, 井上和幸, 鈴木敏夫, 伊藤邦彦, 尾崎紀夫 (2007)	薬剤部 小計 2

合計 231

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 溝井和夫
管理担当者氏名	総務課長 小澤 浩 医事課長 川村金藏 薬剤部長 鈴木敏夫

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録	病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課 (病歴室)	1患者1カルテ方式によりカルテを作成し、入院・外来とも原則として20年間保存管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
確規保則の第9条の23及び第11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室 総務課 看護部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第1条の1各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御室	
	医薬品の使用に係る安全な管理の責任者の配置状況	薬剤部	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	調達課	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	調達課	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	調達課	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	調達課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 溝井和夫
閲覧担当者氏名	総務課長 小澤 浩
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0件
閲 覧 者 別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 0件
	地 方 公 共 団 体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	72.7%	算 定 期 間	平成19年 4月 1日～平成20年 3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			8155人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			7530人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			931人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			15332人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。